

第6章 開放経済の長期分析

市東 亘

shito@seinan-gu.ac.jp

2021年9月22日

1 本章の目的

- 国際収支表の構成を理解する。
- 資本と財・サービスがどのように国際循環しているかを理解する。
- 開放経済モデルを用いた長期分析を習得する。

2 国際収支統計

一定期間における対外経済取引を記録したもの。次ページ表1 国際収支表を参照。

- 経常収支 …… _____ の取引
 - 貿易収支 …… 財貨の所有権が移転した取引。
 - サービス収支 …… サービスの対外取引。
 - 所得収支 …… 居住者・非居住者間の「雇用者報酬」と投資収益の受取・支払（利子・配当など）。
 - 経常移転収支 …… 個人・政府間の財・サービス・現金の贈与
- 資本収支 …… _____ に関する取引。
(ただし所有権の移転を伴うもの)
 - 投資収支 …… 直接投資，証券投資，金融派生商品，その他投資から構成。
 - その他資本収支
- 外貨準備増減
- 誤差脱漏

表 1: 国際収支表 (暦年)

	経常収支					資本収支			外貨準備増減		誤差脱漏				
	貿易・サービス収支		所得収支	経常移転	投資収支	その他投資	外貨準備増減	誤差脱漏							
	貿易収支	サービス収支													
2004年	186,184	101,961	139,022	582,951	443,928	(輸入)	サービス収支	(輸出)	92,731	-8,509	17,370	22,504	-5,134	-172,675	-30,879

(単位: 億円)

(出典: <http://www.mof.go.jp/bpoffice/bpdata/s1bop.htm>)

ポイント

- 国際収支表は複式簿記形式で記帳されるため、必ず以下が成立する。経常収支 + 資本収支 + 外貨準備増減 + 誤差脱漏 = 0
- 経常収支内に計上される取引で発生する現預金の移動は資本収支の「投資収支/その他投資」にも計上される (複式計上)。

3 資本と財貨の国際循環

(1) 国民所得計算の復習 (開放経済版)

$$\begin{aligned}
 & \text{生産面} \qquad \text{支出面} \\
 & Y \equiv C + I + G + X - M \\
 & \qquad \equiv C + I + G + NX \\
 \Leftrightarrow & NX \equiv Y - (C + I + G)
 \end{aligned}$$

$$\Rightarrow \text{純輸出額} \equiv \underline{\hspace{2cm}} - \underline{\hspace{2cm}}$$

したがって,

$$\text{産出額} > \text{内需} \Rightarrow \text{差額は} \underline{\hspace{2cm}}$$

(2) 対外純投資と貿易収支の関係

用語の確認

- 対外純投資 …… $\underline{\hspace{2cm}}$ への投資額 - $\underline{\hspace{2cm}}$ への投資額
純額で海外へいくら投資したかを表す.
- 収支 …… おカネが入ってきたら $\underline{\hspace{2cm}}$, 出れば $\underline{\hspace{2cm}}$.
- 貿易収支 ($\underline{\hspace{1cm}}$) \Rightarrow 純輸出 ($\underline{\hspace{1cm}}$)

$$\begin{aligned}
 Y & \equiv C + I + G + NX \\
 \Leftrightarrow & (Y - C - G) - I \equiv NX \\
 \Leftrightarrow & \underbrace{S - I} \equiv \underbrace{NX} \\
 & \text{対外純投資 (+)} \quad \text{純輸出 (+)} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{貿易収支 (+)}
 \end{aligned}$$

対外純投資と純輸出は等しくなければならない.

上の式は, 資金の国際循環 ($\underline{\hspace{2cm}}$) と財・サービスの国際循環 ($\underline{\hspace{2cm}}$) の関係を表している.

$NX > 0$ で貿易収支_____ $\implies \underline{S > I}$

国内での貯蓄（金融市場における資金供給）が投資（金融市場における資金需要）を上回っている。

↓
対外純投資

まとめ

- 貿易収支黒字 = 対外純投資 (+)
 \implies 貿易などで稼いだおカネで外国へ投資する.
- 貿易収支赤字 = 対外純投資 (-)
 \implies 海外から投資してもらい、そのおカネで輸入代金を支払う.

4 小国開放経済の分析 (Small Open Economy)

4.1 モデルの特徴

- ここでは長期分析のため、古典派の二分法に従い、貨幣市場は省略し実物経済のみ扱う.
- 小国は世界市場のごく一部にすぎない。したがって、単独では世界の金利に与える影響は無視できるほど小さい。
 \iff 閉鎖経済のモデルでは利子率の調整で均衡が実現した.
- 資本の完全移動性と小国の仮定の下では、小国国内の利子率 r は、世界の金融市場で成立している実質利子率 r^* に等しくなる.

$$r = r^* \quad \leftarrow \text{もし } r \neq r^* \text{ なら何が生じるか?}$$

- 小国にとって世界利子率 r^* は所与.

↑ 小国は影響を与えられないから.

これはどのように決まるのか?

世界全体では地球という枠組みで閉じた一つの_____。したがって、前章までの分析がそのまま適用でき、世界全体の_____と_____の均衡で r^* が決まることになる。



4.2 モデル

- 市場

財市場, 労働市場, 資本ストック市場, 金融市場 (貸借市場)

↑

ワルラス法則より他の3市場が均衡していれば金融市場も自動的に均衡する.

- 経済主体

- 企業 $Y = F(K, L)$, $I = I(r)$.
- 家計 \bar{K} , \bar{L} を供給し, 所得 $Y = \frac{W}{P}L + \frac{R}{P}K$ を得る. $C = C(Y - T)$.
- 政府 $G = \bar{G}$, $T = \bar{T}$.
- 外国部門 世界利子率 r^* を決定. 今モデル化している小国と貿易を行う.

- 要素市場の均衡条件

$$K = \bar{K}, L = \bar{L}$$

- 財市場の均衡条件

$$\begin{cases} \text{供給} & Y \\ \text{需要} & C + I + G + NX \end{cases}$$

- 以上をまとめ, 財市場の均衡条件に代入する.

$$\begin{cases} \text{供給} & \text{_____} \\ \text{需要} & \text{_____} \end{cases}$$

小国の仮定より $r = r^*$, 開放経済なので NX が入る点に注意!

- 一般均衡

$$\begin{aligned}\bar{Y} &= C(\bar{Y} - \bar{T}) + I(r^*) + \bar{G} + NX \\ \Leftrightarrow NX &= [\bar{Y} - C(\bar{Y} - \bar{T}) - \bar{G}] - I(r^*) \\ &= \bar{S} - I(r^*)\end{aligned}$$

r^* は国外で決まるため、 $I(r^*)$ は必ずしも _____ と等しいとは限らない。国内金融市場

の需給ギャップは、 _____ となり、これは純輸出と等しい。

→ 以前学んだ「対外純投資と貿易収支」を思い出そう！



練習問題.

- (1) 一般均衡は図のどこで表されるか？
- (2) 閉鎖経済の一般均衡はどこか？
- (3) 図のケースでは、貿易収支は黒字 or 赤字？
- (4) 図のケースでは、対外純投資は正 or 負？

(5) $r_H \geq r^*$ で、国内財市場、国内金融市場で何が起きているか？

- $r^* > r_H$ のケース

国内財市場は_____ (_____ が少なすぎる)

↓

輸出へ (貿易収支_____)

国内金融市場は_____ (_____ が少ないので資金需要が小さい)

↓

余った資金は海外投資へ (対外純投資_____)

- $r^* = r_H$ のケース

国内財市場は_____ . 国内で生産されたものは全て国内で購入され、過不足がないので貿易も生じない.

国内金融市場は_____ . 資金の需給が均衡しているので、海外へ貸付ける余剰

資金も、海外から借り入れる不足資金もなく、対外純投資は_____

- $r^* < r_H$ のケース

各自で.

(6) 図でもし海外利子率 r^* を受け入れなかったらどうなるか？

$r^* > r_H$ より _____ は _____ の低い金利で資金を調達して、より多くの投資を _____ で行おうとする。

↓

国内資本（資金） _____ . r_H のままでは国内金融市場で _____ . すなわち超過 _____

↓

超過 _____ より、資金の価格 r が _____ . 世界利子率と同じ r^* まで _____ した時、金融市場は均衡する。

↓

結局、資本の完全移動性の下では、国内利子率と世界利子率は一致する。

4.3 経済政策と貿易収支

経済政策が行われる前の初期時点では、貿易収支は均衡状態にあるとする。

$$NX = 0 \iff I = \bar{S} \\ r_H = r^*$$

(1) 自国の財政政策（拡張的財政政策）

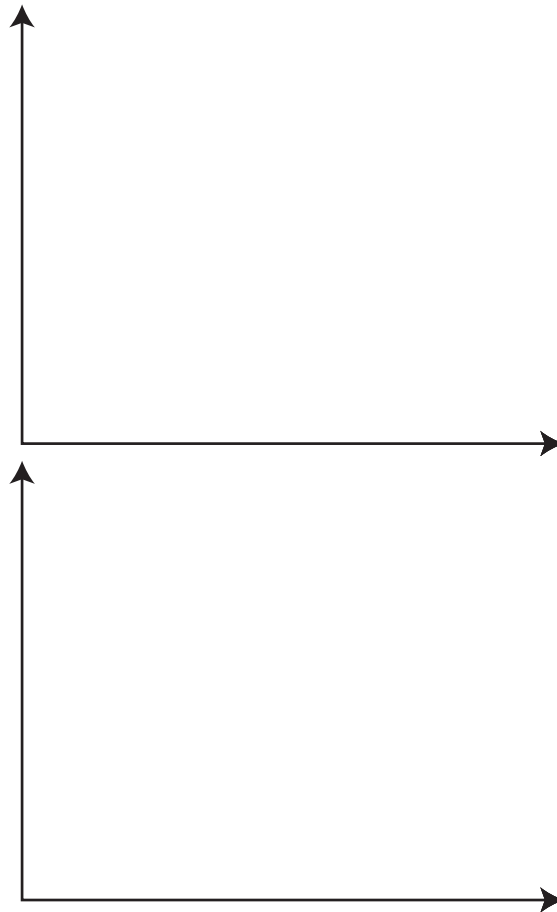
$$\text{一般均衡条件: } NX = \bar{Y} - C(\bar{Y} - \bar{T}) - \bar{G} - I(r^*) \\ = \bar{S} - I(r^*)$$

式によるアプローチ.

$$\bar{T} \text{ _____ or } \bar{G} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ _____} \implies \text{右辺} \text{ _____} \implies NX \text{ _____}$$

グラフによるアプローチ.

$$\bar{T} \text{ _____ or } \bar{G} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ は} \text{ _____} \text{ヘシフト.}$$



インプリケーション.

政府支出増 \Rightarrow _____

\Rightarrow 世界利率は不変なので投資需要 _____

\Rightarrow 金融市場で資金 _____

\Rightarrow 海外から _____ (対外純投資 _____)



貿易収支 _____ (輸入 _____ , 純輸出 _____)

(2) ケース・スタディ (p.209) — アメリカの双子の赤字 (1980年代)

レーガンは個人所得税の大幅な減税を実施。

⇒ 連邦政府はそれ以降約 10 年間財政赤字に陥る。(それまでは税制収支はほぼ均衡か黒字で WWII の負債を少しずつ返済していた。)

⇒ 国民貯蓄を低下させ、大きな貿易赤字になる。それまでは、平均すると貿易黒字だったが、これ以降米国は世界最大の債務国となった。

↑

世界中がアメリカに投資し、海外からアメリカに貸付けているということ。

(3) 外国の財政政策

(a) 外国が小国のケース

小国である外国は _____ に影響を与えないため、自国にも影響なし。

(b) 外国が大国のケース (または諸外国が一斉に同じような政策をとった場合)

世界経済の一般均衡条件: _____

外国の財政支出増 ⇒ 世界貯蓄 _____, \bar{S}_w _____ ヘシフト

⇒ r^* _____ (世界利子率 _____)



自国の一般均衡条件: _____

$$r^* \text{ _____ } \Rightarrow I \text{ _____}$$

$$\Rightarrow NX = \bar{S} - I(r_1^*) \text{ _____ } \text{ で貿易収支 } \text{ _____}$$



インプリケーション.

大国である外国の財政支出増で世界の金融市場で超過 _____ になり世界利子率が _____ .

\Rightarrow 世界利子率の _____ により国内の投資需要が _____ .

\Rightarrow 国内金融市場で資金が _____ .

\Rightarrow 対外純投資 _____ , 貿易収支 _____ .

(4) 自国の投資需要のシフト

投資需要増の原因

- アメリカでは, IT 革命により企業の IT 関連の設備投資が活発化した. また, 光ファイバーや情報通信のインフラ整備も活発化し, 教育機関にもコンピュータが積極的に導入された.
- 日本では, IT 関連投資を促進させるため投資減税を行った.

\Rightarrow 貿易収支への影響は?



国内の投資需要増は、国内の均衡利子率増大で相殺されるはずだが、開放経済では世界利子率が一定のままなので、安い外国から資金を入れ、投資増を賄うことができる。したがって、対外純投資はマイナスになる。また、投資による有効需要増大で、財市場は超過需要になる。生産は \bar{Y} で一定なので、外国からの輸入で有効需要増を賄う。したがって、貿易収支は赤字になる。

(5) 経済政策の評価

拡張的財政政策 \implies 貿易収支赤字 \iff 対外純投資マイナス

(a) 政策を評価する際の注意点

ミクロ的基礎付けのないモデルによるここでの分析は、規範的なものではなく、どちらかという実証的である点に注意。

(b) 貿易赤字は問題か？

- 貧しい農業経済から近代的な工業経済への転換においては、外国からの高額の投資資金調達が必要で貿易収支赤字を伴う。したがって、貿易収支赤字は、経済発展の兆候にもなり得る（韓国などが例）。
- 貿易収支は世界全体で相殺するものであり、一国の輸出入が釣り合う必要性は全くない。
- 貿易収支が均衡していなければならないという主張は、
 - \implies 対外投資と海外からの国内投資が均衡しなければならないというのと同じ
 - \implies 閉鎖経済時の均衡利子率と世界利子率が同じでなければいけないというのと同じ
 で、全く根拠がない。



貿易収支赤字そのものは問題ではない。

経済学者は、貿易収支赤字が他の経済問題を引き起こす可能性があるという意味で、問題の兆候ではあっても、それ自身が問題だとは思わない。

(c) では、貿易赤字は、どのような経済現象の兆候となるのか？

貿易赤字 \iff 国内有効需要 _____ 国内総供給 \implies _____

したがって、貿易赤字は _____ を意味する。

↑

これは貿易赤字以外の要因でも生じる。したがって、低い貯蓄率に問題があるとしても、貿易赤字そのものが問題とは言えない。さらに、貿易赤字だから貯蓄率が低いのではなく、貯蓄率が低いから貿易赤字なのかもしれない。故に、たとえ社会が貯蓄率の低下を問題だと認識したとしても、同時に貿易赤字が問題とは言えない。

低い貯蓄率の問題とは？

将来のためにより少ないものしか残さないことを意味する。

- 低い貯蓄 \implies 投資の減少 \implies 資本ストックの減少 \implies 将来の生産減少 \implies 将来の消費減少
- 経済成長の後退。

しかし、低い貯蓄率であっても、高い消費意欲が技術革新を誘発し、生産性が上昇すれば少ない資本ストックでも今以上に生産出来る。

↓

低い貯蓄率であっても即問題とは言えない。したがって、貿易赤字が即問題の兆候とも言えないことに注意しなければならない。

まとめ

貿易赤字の「赤字」にのみ盲目的に反応し批判するのではなく、その背景にある経済の諸現象を理解しなければならない。

4.4 為替レート

概要

- 為替レートは何を測定しているのか正確な定義を与える。
- 為替レートがどのように決定されるのか解明する。

4.4.1 名目為替レートと実質為替レート

- (1) 名目為替レート: 二国間の _____ の 相対価格。
交換比率のこと。一方の価値を基準に他方の価値を測ったもの。

(例)

(a) 1ドル = 120円

1ドル通貨1単位に対し、円120単位と交換出来る。_____が単位の基準。

(b) 1円 = $1/120$ ドル = 0.00833...ドル = 0.833...セント

円通貨1単位に対し、ドル通貨0.00833...単位と交換出来る。_____が単位の基準。

円高 \Rightarrow (a)の外国通貨基準レートは_____。

(b)の自国通貨基準レートは_____。

講義では、自国通貨基準レートを標準の名目為替レートとして使用する。第2版のテキストとは逆なので注意！

(2) 実質為替レート：二国間の_____の相対価格。交易条件 (terms of trade) と呼ばれる。

(例) ある日本車が240万円。同等の性能を持つアメリカ車が1万ドル。1ドル120円とする。実質為替レートは、この日本車1台が同等の性能を持つアメリカ車何台と交換出来るかを表す。

何台？

Ex. 実質為替レートが高いほど、自国財は外国財に比べ_____ことになる。

実質為替レートの上昇 \Leftrightarrow 交易条件の_____

ケース・スタディ. 実質為替レートの観点から、円高になった時の経済効果を考えてみよう。

(1) 財価格が両国で一定のケース

円高 e _____ $\Rightarrow \varepsilon$ _____ で自国財が外国財に比べ _____ なる。

\Rightarrow 交易条件の _____ で輸入 _____

\Rightarrow 純輸出 NX は _____ することが予想される。

(2) アメリカは好景気でインフレ、日本は不景気でデフレのケース。

P_H _____ & P_F _____ したがって、 (P_H/P_F) _____ .

$\Rightarrow e \cdot (P_H/P_F) = \varepsilon$ _____

\Rightarrow 最終的な効果は、それぞれの項の変化の大きさに依存するが、互いの効果はある程度相殺される。

\Rightarrow 実質為替レートはあまり変化しない。

(交易条件もあまり変化せず、純輸出 NX もあまり変化しないことが予想される)

実質・名目為替レートの違い。

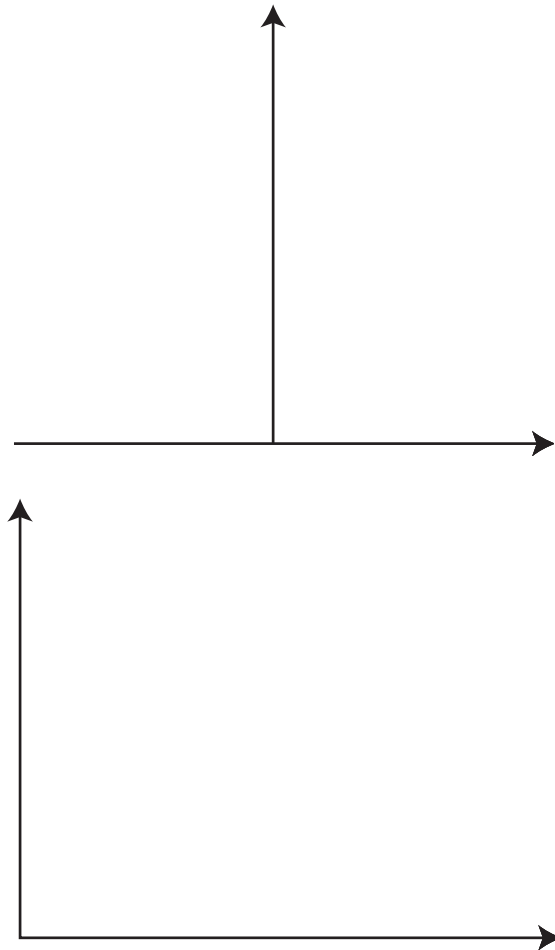
- 実質為替レートは、自国財と外国財の価値を直接比べたもので、このレートの変化は、我々の購買行動に実際の変化をもたらす。
- 名目為替レートは、財の実際の価値を比べたものではなく、貨幣の価値を比べたもの。したがって、国内外の財価格（貨幣価値を基準にしている）が変化すれば、必ずしも名目為替レートの変化が我々の購買行動に影響を与えるとは限らない（上のケース・スタディ(2)を参照）。

4.4.2 実質為替レートと純輸出

ε _____ \Rightarrow 自国財 _____ v.s. 外国財 _____

\Rightarrow _____ 製品をより多く買う

$\Rightarrow NX$ _____



4.4.3 実質為替レートの決定要因

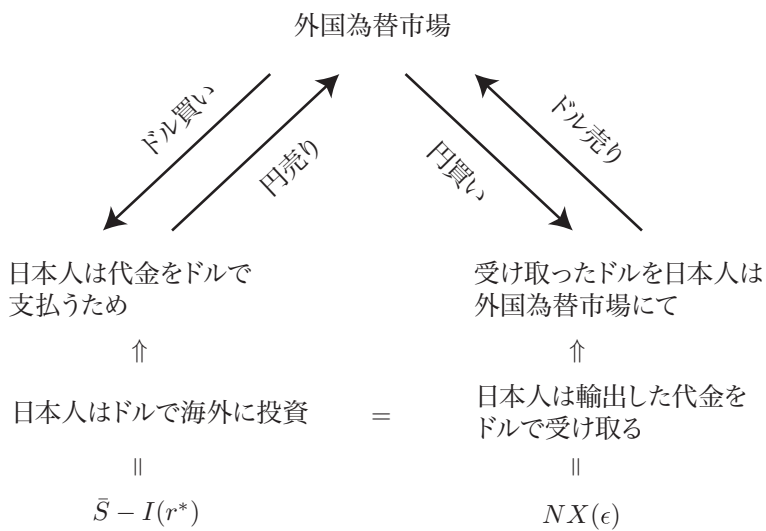
実質為替レートはどのように決まるか？

- (1) 一般均衡条件より _____ ← 左辺は定数. _____ も一意に決まる.
- (2) $NX = NX(\varepsilon)$ より _____ を満たす _____ も一意に定まる.

グラフによる均衡実質為替レートの導出.



ドル建てのケース



- (2) 対外純投資と純輸出を一致させるために、輸出入を行う業者と一般の投資家は連携して行動してるわけではない。では、どのようなメカニズムで事後的にこれらの収支が一致するのか？



Step 1. 左図で対外純投資と純輸出が一致していないのはどこか？

結局、_____ や _____ が変化することによって、均衡実質為替レート ε^* に調節され両者が一致する。

Step 2. $\varepsilon > \varepsilon^*$ のケースを考える。

- ドル建てのケース

対外投資が旺盛（日本の投資家は_____ 売り_____ 買い）

輸出による日本企業の_____ 売り_____ 買いを上回る。

- 円建てのケース

対外投資が旺盛（海外で_____ 売り_____ 買い）

輸入代金を日本に支払うための外国企業による_____ 売り_____ 買いを上回る。



外国為替市場で円は超過_____

⇒ _____ 安_____ 高. e _____

⇒ $eP_H/P_F = \varepsilon$ _____

⇒ ε _____ で交易条件_____ （自国財が_____ くなる）. 自国の輸出_____ .

NX _____

⇒ こうして純輸出 NX と対外純投資 $S - I$ が等しくなるまで調節される。

(3) 円高になると日本の輸出関連企業の収益はどうなると予想されるか? その理由を2つ挙げよ.

4.4.4 政策が実質為替レートに及ぼす影響

(1) 自国の財政政策 (拡張的財政政策)

$$\begin{aligned} \text{一般均衡条件: } NX(\varepsilon) &= \bar{Y} - C(\bar{Y} - \bar{T}) - \bar{G} - I(r^*) \\ &= \bar{S} - I(r^*) \end{aligned}$$

式によるアプローチ.

$$\bar{T} \text{ _____ or } \bar{G} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ _____} \implies \text{右辺} \text{ _____} \implies NX \text{ _____} \implies \varepsilon \text{ _____}$$

グラフによるアプローチ.

$$\bar{T} \text{ _____ or } \bar{G} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ _____} \implies \bar{S} \text{ は _____ へシフト.}$$

$$\implies \bar{S} - I(r^*) \text{ は _____ へシフト.}$$



インプリケーション.

政府支出増 \Rightarrow 対外純投資 $S - I$ を減少させる (ここまでのインプリケーションは省略).

\Rightarrow 外国為替市場において円の供給_____

\Rightarrow 円の価値_____

\Rightarrow 物価は不変なので実質為替レート_____

\Rightarrow 自国財は外国財に比べ_____ になる

\Rightarrow 輸出が_____, 輸入が_____ する.

(2) 外国(大国)の財政政策(拡張的財政政策)

外国の財政支出増 \Rightarrow 世界貯蓄_____ \Rightarrow 世界利子率_____

(a) 純輸出への影響(従来までの IS バランスの図)

世界利子率_____ \Rightarrow 自国投資 $I(r^*)$ _____

\Rightarrow 自国の貯蓄は一定だから NX _____

(b) 実質為替レートへの影響($NX-\varepsilon$ 平面の図)

世界利子率_____ $\Rightarrow \bar{S} - I(r^*)$ _____

\Rightarrow 外国為替市場で自国通貨の供給_____ \Rightarrow 自国通貨の価値_____

\Rightarrow 実質為替レート_____ \Rightarrow 自国財割_____ で NX _____

上の効果をそれぞれ2つの図を使って各自確認すること!

(3) 自国の投資需要のシフト

投資減税などの投資優遇政策で $I(r^*)$ が右にシフト \implies あとは各自で. 結論は $NX \downarrow, \varepsilon \uparrow$.

(4) 貿易政策の効果

貿易政策の種類.

- 関税 …… 輸入品に税金をかけ, 海外の競争相手から自国製品を保護する.
- 割当 …… 財・サービスの輸入量に制限を課す.

保護主義的な貿易政策の例. 外国産自動車の輸入を禁止したら?

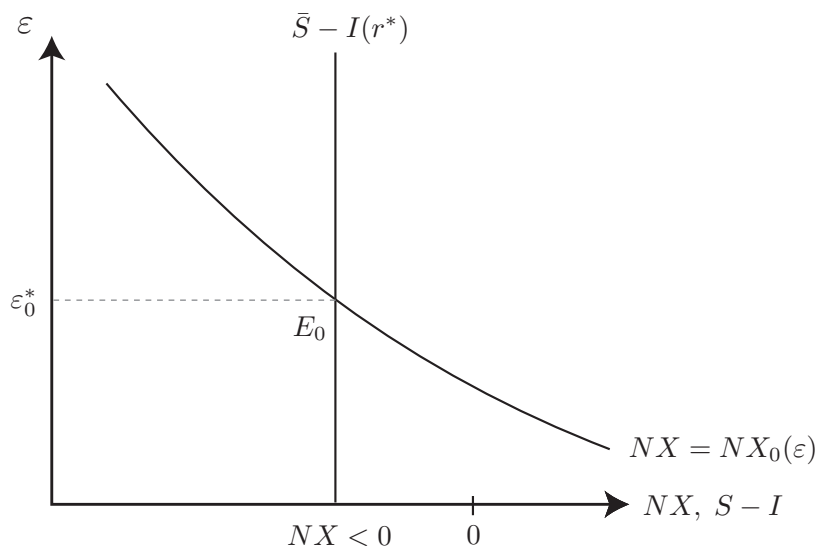
同じ実質為替レートの下で輸入が _____ し, NX _____

(a) 式によるアプローチ ($\bar{S} - I(r^*) = NX(\varepsilon)$)

NX _____ で右辺 _____ \implies 左辺は _____ なので右辺の NX が調整さ

れなければならない $\implies \varepsilon$ _____ で NX が元の水準に戻る

(b) グラフによるアプローチ



保護主義的な貿易政策なので貿易収支は赤字

結局、保護主義的な貿易政策で自国財を保護しようとしても、実質為替レートが上昇し、純輸出は変化しない！つまり、自国製品を保護しようとしても、自国製品の全体的な国際競争力に影響を与えることは出来ないのである。

アメリカの自動車産業を保護する政策を例にとると、自動車では競争に勝っても他の財で競争に負け、全体では+-ゼロとなる。

なぜか？

貿易政策は直接純輸出のみをコントロールするもので、国内の貯蓄や投資とは関係ない。したがって対外純投資は一定。対外純投資が不変で純輸出のみ保護主義的貿易政策で増大すると、外国為替市場で自国通貨が超過需要となり自国通貨の価値が上昇する（自国通貨基準の名目為替レートが上昇する）。したがって実質為替レートも上昇する。これにより自国財が割高となり、保護対象外製品の輸入が増え輸出が減少する。こうして純輸出が減少していき、保護主義的貿易政策の効果が相殺されるまで調整が続くのである。

4.4.5 名目為替レートの決定要因

教科書で自習。

4.5 大国の経済分析

大国の開放経済を分析する場合、利子率以外の変数は全て小国開放経済モデルでの分析結果と同じ方向に動く。したがって、利子率以外の経済効果を見るには小国モデルで十分。

5 練習問題

- (1) 国際収支表に関する記述として適切なものを全て選びなさい。
- (a) 海外から購入した株式の値上がりによる対外資産の増加は、資本収支に計上される。
 - (b) 国際収支表は大きく「貿易収支」と「資本収支」から構成されている。
 - (c) 誤差脱漏がゼロのとき、経常収支が赤字で資本収支が均衡している場合、外貨準備増減は負の値をとる。
 - (d) 貿易取引は資本収支に影響を与える。
 - (e) 貿易収支は経常収支の一部である。
- (2) 小国長期開放経済モデルに関する記述として最も適切なものを1つ選びなさい。
- (a) 拡張的財政政策は投資のクラウディングアウトを引き起こす。
 - (b) 均衡では国内の貯蓄量と投資量が等しい。
 - (c) 限界消費性向が増大すると、国内の金融市場は超過需要になり、対外純投資が増加する。
 - (d) 貿易赤字のとき、国内の投資量は鎖国している時よりも少ない。
 - (e) 増税は純輸出を増大させる。
- (3) 円高が日本の景気を悪化させる要因となり得るのはなぜか、適切なものを全て選びなさい。
- (a) 円高により実質為替レートが下落し、海外の財と比較して日本の財の国際競争力が減少するから。
 - (b) 円高は貨幣供給量を減らし、景気を抑制するから。
 - (c) 円高により名目賃金が減少し、労働市場の超過供給が減少するから。
 - (d) 製造業を中心とした輸出関連企業が、国際競争力を失って業績が悪化するから。
 - (e) 交易条件が改善し、純輸出が減少するから。

6 練習問題 解答・解説

- (1) 国際収支表に関する記述として適切なものを全て選びなさい。
- (a) 海外から購入した株式の値上がりによる対外資産の増加は、資本収支に計上される。
(誤: キャピタルゲインは計上されない。所有権の移転が生じる取引のみ計上される。)
 - (b) 国際収支表は大きく「貿易収支」と「資本収支」から構成されている。
(誤: 経常収支, 資本収支, 外貨準備増減, 誤差脱漏に分類される。)
 - (c) 誤差脱漏がゼロのとき、経常収支が赤字で資本収支が均衡している場合、外貨準備増減は負の値をとる。
(誤: 経常収支 + 資本収支 + 外貨準備増減 + 誤差脱漏 = 0 より, 外貨準備増減は正の値になる。)
 - (d) 貿易取引は資本収支に影響を与える。
(正解: 貿易額は貿易収支に, 決済による現預金の移動は資本収支のその他投資に計上される。)
 - (e) 貿易収支は経常収支の一部である。
(正解: 正しい記述)
- (2) 小国長期開放経済モデルに関する記述として最も適切なものを1つ選びなさい。
- (a) 拡張的財政政策は投資のクラウディングアウトを引き起こす。
(誤: 小国モデルでは利子率は所与なのでクラウディングアウトは生じない。)
 - (b) 均衡では国内の貯蓄量と投資量が等しい。
(誤: 開放経済モデルでは $\bar{S} = I(r^*)$ である必要がない。)
 - (c) 限界消費性向が増大すると、国内の金融市場は超過需要になり、対外純投資が増加する。
(誤: \bar{S} が左へシフト。国内の金融市場は超過需要で海外から資金を投下してもらうので対外純投資が減少する。)
 - (d) 貿易赤字のとき、国内の投資量は鎖国している時よりも少ない。
(誤: $\bar{S} - I(r^*) = NX < 0$ の時, $\bar{S} < I(r^*)$ なので $r_H > r^*$ 。したがって, 国内の投資量は鎖国時よりも多い。だから, 財を輸入している。)
 - (e) 増税は純輸出を増大させる。
(正解: \bar{S} が右へシフト。 $\bar{S} - I(r^*) = NX$ は増加する。)
- (3) 円高が日本の景気を悪化させる要因となり得るのはなぜか、適切なものを全て選びなさい。
- (a) 円高により実質為替レートが下落し、海外の財と比較して日本の財の国際競争力が減少するから。
(誤: 円高は実質為替レートを増加させる。)
 - (b) 円高は貨幣供給量を減らし、景気を抑制するから。
(誤: 為替レートと貨幣供給量は関係ない。)
 - (c) 円高により名目賃金が減少し、労働市場の超過供給が減少するから。
(誤: これも関係ない因果関係。)

- (d) 製造業を中心とした輸出関連企業が、国際競争力を失って業績が悪化するから。
(正解)
- (e) 交易条件が改善し、純輸出が減少するから。
(正解)